

市長就任のごあいさつ

深川市長

たなかまさゆき
田中昌幸

市民の皆さんとともに

「人にやさしいまち」を目指して



市長プロフィール

生年月日:昭和36年2月1日(62歳)

趣味:バレーボール、旅行

【略歴】

▽深川西高等学校卒業

▽室蘭工業大学工学部建築工学科卒業

▽昭和58年4月 深川市役所奉職

▽平成15年6月 深川市議会議員初当選
(連続5期)

▽深川市議会副議長

▽令和4年12月 深川市長初当選

【主な公職など】

▽深川市男女平等参画推進協議会理事

▽北海道建築士会北空知支部長

▽1級建築士

▽深川市バレーボール協会会長

▽深川バレーボール協会理事長

▽日本スポーツ協会公認コーチ

このたびの深川市長選挙におきまして、多くの市民の皆さんのご支援を賜り深川市政の舵取り役を担わせていただくこととなりました。

私が、まちづくりで一番大切に考えていることは「人」です。人はまちの宝物と考え、子どもや高齢の方、障がいのある方をはじめ、「人」にやさしい施策に取り組みます。「やさしいまち」とは、みんなで支え合い、助け合える居心地のよいまちです。誰一人として取り残されることなく、包み込む、何かあったときにお互いさまと言え、そんな人にやさしいまちづくりを市民の皆さんと一緒に進めていきます。

令和2年度に改訂した深川市まち・ひと・しごと創生の人口ビジョンでは、令和7年に1万9200人を維持する推計となっていますが、令和4年末ですでに1万9158人と予想を超えて人口減少が加速しており、少子高齢化への対策は待たなしの状況です。そのため、人からはじまる深川のまちづくりとして、

一、子育て世帯が安心して生活できるまちづくり

二、子どもから高齢者まで安心して暮らせる福祉・医療のまちづくり

三、若者からシニア世代まで女性も男性も働きがいのあるまちづくり

四、市民がいきいきと活動できる芸術・文化・スポーツのまちづくり

五、安心安全のまちづくり

六、市民参画による公平公正なまちづくり

の6つをかかげ、若い人がものを言いやすい雰囲気があるまち、市外の人に来てみたい・寄ってみたいと魅力を感じるまち、何事にも一生懸命に取り組む人たちを地元に住む人たちが支えられるまち、私が先頭に立ち市の情報発信をすることで、「行ってみたい」「住んでみたい」「住み続けたい」と思ってもらえるようなまちを目指し、深川の新时代へ向けて、市民の皆さんとともにまちづくりにまい進してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。